

記 録

## 岡山県におけるベニトンボの確認記録について

岡山県自然保護センター 難波 靖司

Records of *Trithemis aurora* in Okayama Pref.

Yasushi NAMBA, Okayama Prefectural Nature Conservation Center

### ABSTRACT

On October 5th and 10th, 2021, I visited a reservoir in Tamahara, Tamano City, and confirmed *Trithemis aurora*.

キーワード：岡山県，分布，九州四国以南，北進

### はじめに

ベニトンボ *Trithemis aurora* は、日本では南西諸島、九州南部、四国南部に分布し、紀伊半島南部、九州北部に飛来記録がある。かつて鹿児島県の一部にのみ分布していたが、1980年代以降、分布域の北上が見られる。国外では台湾、中国、東南アジア、インドに分布している（尾園ほか、2012）。

国内分布は更に広がりを見せており、関西方面では、兵庫県神戸市で2016年に（村重隆、2018）、淡路島で2017年に（稲畑憲昭、2017）、兵庫県加西市で2019年に（三浦喜太郎、2019）確認されている。

岡山県内では、元来記録がなく、岡山県野生生物目録2019（2021）においても記載がなかったが、2021年中の秋期に2件の岡山県内における確認がなされて、それぞれ新聞等への告知が行われた。1件は水井颯麻氏によるもので、2021年10月2日、和気町泉地内のため池における目撃確認である（山陽新聞東備版、2021年10月20日、毎日新聞、同年10月27日）。もう1件は守安敦氏によるもので、同年同時期に、倉敷市児島稗田町内のため池における2個体の採集確認である（山陽新聞デジタル、2021年11月22日）。

筆者も同時期に玉野市玉原地内のため池において、ベニトンボを目撃しているが、今後も分布の北進が予想される南方系の種であることから、同時期に岡山県内3カ所で確認されたことを興味深く思い、その時の状況を記録として報告しておくこととした。

### 確認状況

#### 1. 確認地の概況

ベニトンボを確認したのは、玉野市玉原地内のため池である。外周が約800メートルの比較的大きなもので、湖岸に沿ってヨシ、ヒメガマ等の大型高茎植物が生えており、堰堤に近い辺りではオギ群落も見られる。開水面には浮葉植物であるヒシが見られる。植生はよく発達しているが、ミシシippアカミミガメやオオクチバス等の外来種がよく目につく。

#### 2. 確認状況

##### (1) 2021年10月5日の記録

午前10:30頃から14:00頃まで滞在した。午前11:30頃、ベニトンボ（♂、写真1参照）を1個体発見した。池中の転石上に止まっており、飛び立っては採餌し、転石上に戻る行動を繰り返していた。午後13:00頃まで同じ転石上で確認できた

が、他の個体や♀個体の出現は確認されなかった。午後13:00以降戻ってこなかった。

#### [その他の確認種とメモ]

アオイトトンボ(交尾態)、ベニイトトンボ(♂, 写真2参照)、アオモンイトトンボ(交尾態, ♀), タイワンウチワヤンマ(♂), ショウジョウトンボ(♂), コノシメトンボ(♂), マユタテアカネ(♂), タイリクアカネ(♂), チョウトンボ(♂)等を確認した。数が多いかったのはアオモンイトトンボとマユタテアカネであった。

#### (2) 2021年10月11日の記録

前回同様、午前10:30頃に訪れたが、厚い雲に覆われた暗い天候で、トンボ類は全般に活性が低く、確認される種は限られた。ベニトンボ(写真3参照)は前回と同じ場所で、おそらく同じと思われる♂個体を確認した。1個体のみであり、終始他個体の出現はなかった。途中、小雨混じりとなり、正午頃に引き上げた。

#### [その他の確認種とメモ]

アオイトトンボ(♀), ギンヤンマ(♂), ネキトンボ(♂), タイリクアカネ(雌雄不明), オオキトンボ(♂, 写真4参照), コノシメトンボ(♂)等を確認した。

### まとめ

2021年10月5日、10日に玉野市玉原地内のため池に訪れ、両日ともベニトンボ(♂)を確認した。確認地点が2回とも同じであり、同じ個体であったのではないかと考える。終始、他個体の出現がなかったため、繁殖行動も確認されなかった。確認地点以外の場所も観察したが、ベニトンボの他個体は見つけられなかった。

南方系の種の飛来個体は、繁殖行動に至ってもヤゴの越冬にまで至らないケースもあるだろう。このまま地球温暖化が進むと、今回のような一時的飛来と思われるような事例を繰り返しながら、どこかで定着するものと思われる。或いは既に定着しているものもあるのかもしれない。折に触れて現地を訪れ、新たな情報があれば、追って報告したいと思う。

### 引用文献

- 稲畑憲昭, 2017. 淡路島初記録となるベニトンボを採集. きべりはむし 41 (1) : 40—41.
- 片岡尚也, 2021年10月20日. ベニトンボ撮影成功 岡山大4年 水井さん. 山陽新聞 東備版: 32.
- 毎日新聞, 2021年10月27日. ベニトンボ撮った和気 中国地方で初か. 朝刊: 22.
- 三浦喜太郎, 2019. ベニトンボを加西市で撮影. きべりはむし 42 (2) : 64.
- 村重隆, 2018. 神戸市でベニトンボを採集. Gracile 78 : 23.
- 岡山県野生動植物調査検討会, 2019. 岡山県野生生物目録2019. 53—255. 岡山県環境文化部自然環境課.  
[https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/722826\\_6560125\\_misc.pdf](https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/722826_6560125_misc.pdf) (2021年6月14日更新ファイル).
- 岡山県野生動植物調査検討会, 2020. 岡山県版レッドデータブック2020動物編. 163—306. 岡山県環境文化部自然環境課.  
[https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/656841\\_5702277\\_misc.pdf](https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/656841_5702277_misc.pdf) (2021年6月14日更新ファイル).
- 尾園 暁・川島逸郎・二橋 亮, 2012. ネイチャーガイド日本のトンボ. 株式会社文一総合出版: 452. 東京.
- さんデジ, 2021年11月22日. 「ベニトンボ」岡山県内で初採集 オオキトンボは倉敷で38年ぶり. 山陽新聞デジタル.  
<https://www.sanyonews.jp/article/1199850> (2021年11月26日閲覧)



写真1. ベニトンボ♂(2021年10月5日, 撮影者:難波靖司).



写真2. ベニイトトンボ♂(2021年10月5日, 撮影者:難波靖司).



写真3. ベニトンボ♂(2021年10月11日, 撮影者:難波靖司).



写真4. オオキトンボ♂(2021年10月11日, 撮影者:難波靖司).